

Title	飯田鼎名誉教授略歴
Sub Title	A chronology of Prof. Kanae Iida
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1990
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.83, No. 特別号-I (1990. 9) ,p.205-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	飯田鼎教授退任記念論文集
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19900901-0205">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19900901-0205</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 飯田 鼎名誉教授略歴

- 大正13年9月24日 千葉県東葛飾郡鎌ヶ谷村中沢 975 に、父繁、母いみの二男として生まれる
- 昭和6年4月 鎌ヶ谷尋常小学校に入学
- 同 12年3月 同校を卒業
- 12年4月 日本大学中学校に入学
- 同 17年3月 同校を卒業
- 17年4月 東京府立第四中学校補習科に通学（18年3月迄）
- 同 18年4月 大倉高等商業学校に入学
- 同 20年2月 同校二年在学中、東部第六四部隊に入隊、軍務に服す
- 20年9月 復員、大倉高商を卒業
- 同 21年4月 慶應義塾大学経済学部本科に入学
- 同 22年4月 藤林敬三教授の指導をうける
- 同 24年3月 同大学同学部を卒業、直ちに経済学部副手に任用
- 同 25年4月 大学院特別研究生を兼ねる
- 同 27年4月 経済学部助手となるも、肺結核のため、慶應病院に入院
- 同 28年10月 退院
- 同 29年4月 英書、ドイツ書講読を担当
- 同 30年4月 教養課程（法学部）で経済学を担当
- 同 31年5月 島津静子と結婚
- 同 32年4月 助教授に昇格、東京歯科大学講師を兼任（57年迄）
- 32年5月 長女知子誕生
- 同 33年10月 『イギリス労働運動の生成』（有斐閣）により慶應義塾賞を受賞
- 同 34年10月 慶應義塾労働組合三田支部委員長に選ばれる（35年5月迄）
- 同 35年3月 長男暁誕生
- 35年4月 学生部副部長を命ぜられる（37年3月迄）
- 同 39年4月 中央大学経済学部講師を兼任、社会政策論担当（41年3月迄）
- 39年5月 慶應義塾労働組合委員長に選ばれる（40年5月迄）
- 同 41年10月 教授に昇任、経済学博士の学位を授与される
- 41年11月 慶應義塾評議員に選ばれる（45年10月迄）
- 同 42年4月 法政大学経済学部講師を兼任、社会政策論を担当（43年3月迄）
- 同 49年3月 慶應義塾派遣留学生としてイギリス、ウォーリック大学社会史研究センターに留学
- 同 50年9月 帰国
- 同 53年10月 経済学史学会幹事に選ばれる（57年10月まで）
- 同 57年9月 特別研究期間制度の適用をうけ、ロンドン大学歴史学研究所および公文書館（Public Record Office）で研究に従事
- 同 58年8月 帰国
- 58年10月 福沢研究センター所員を兼任
- 同 59年10月 経済学史学会幹事に再選
- 平成2年3月 定年により、慶應義塾大学を退職